学校番号	１００７

令和３年度　商業科

教科	商　業	科目	簿記	単位数	４単位	年次	２年次
講座名	簿記						
使用教科書	高校簿記　新訂版　（実教出版）						
副教材等	最新段階式日商簿記検定問題集３級　三訂版　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「簿記」は普通高校の生徒であれば大学に入ってから初めて学習する科目です。高校在学中に「簿記」の基本を学習しておくと将来就職しても進学しても簿記に関する知識については、かなり優位にたてます。はじめは「慣れない用語」に戸惑うと思いますが、授業でわからなかったことはその都度、遠慮なく質問し理解すること。

問題の演習を繰り返すことによって理解を深めることができます。副教材として利用する問題集や授業中に配布する補助プリントを反復して問題を解き、間違えた箇所はその原因を考え、弱点を補強すること。

また、日本商工会議所主催の簿記検定が６月・11 月・２月の３回にわたって実施されます。希望者のみの受験としますが、就職や進学などに有利な面もあるので積極的に受験するように。

２　学習の到達目標

簿記に関する知識と技術を習得させ、その基本的な仕組みについて理解させるとともに、適正な会計処理を行う能力と態度を育成する。

中小企業や個人商店の経理事務に役立つ基本的な商業簿記を修得し、経理関連書類の適切な処理や青色申告書類の作成など、初歩的な実務がある程度できるよう、能力を育成する。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	簿記について関心をもち、適正な会計処理を行うことを目指して主体的に取り組もうとするとともに,会計処理を行う実践的な態度を身につけている。	適正な会計処理を行うことを目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術をもとに、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	簿記に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、適正な会計処理を行うことを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	簿記に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、その基本的なしくみについて理解している。
評価方法	定期考査 単元別小テスト	定期考査 単元別小テスト	定期考査 単元別小テスト 提出課題	定期考査 単元別小テスト 提出課題

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期(前半)	第Ⅰ編　簿記の基礎	1　企業の簿記 2　簿記の要素 3　取引と勘定 4　仕訳と転記 5　仕訳帳と総勘定元帳 6　試算表 7　決算	○	○	○	○ ○ ○	a:企業の簿記の意義と役割を知り、簿記の学習に興味を示し、学習しようとする態度がみられたか。 b:簿記の基礎概念として資産・負債・純資産・収益・費用は何かを思考し、それぞれの区分を適切に判断し適切に表現できたか。 c:勘定記入法を理解し、仕訳帳・総勘定元帳への記帳を正確におこなえているか。 d:簿記の要素と貸借対照表・損益計算書の構造や役割，簿記一巡の手続きなど、簿記の仕組みを理解したか。また、試算表の意味や役割を理解でき、貸借対照表と損益計算書の作成法を理解しているか。	定期考査 単元別小テスト 提出課題
前期(後半)	第Ⅱ編　取引の記帳と決算Ⅰ	8　現金・預金の記帳 9　商品売買の記帳 10　掛け取引の記帳 11　固定資産の記帳 12　決算(その1)	○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	a:基本的な決算整理を加えた決算に関心を高め、その決算処理の学習を的確に行おうとしているか。 b:企業の現金・預金の取引、商品売買の取引、固定資産の取引について、その記帳に関して、自ら考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。 c:現金・預金の取引、商品売買の取引、掛け取引、固定資産の取引および決算の記録・計算・整理について基礎的・基本的な技術を身に付けたか。 d:やや進んだ決算整理を含む決算についての基礎的・基本的な知識を身に付けたか。また、上記の要素を含めた貸借対照表と損益計算書の作成法を理解したか。	定期考査 単元別小テスト 提出課題

後期(前半)	第Ⅲ編　取引の記帳と決算Ⅱ	13　手形取引の記帳 14　有価証券の記帳 15　その他の債権･債務の記帳 16　販売費及び一般管理費の記帳 17　資本金の記帳 18　決算(その2)	 ○	○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:作成した会計帳簿や貸借対照表と損益計算書からビジネスの諸活動を把握しようとしているか。 b:手形に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。 c:手形の取引、有価証券の取引、資本金の取引および決算の記帳について、基礎的・基本的な技術を身に付けたか d:手形の取引、有価証券の取引、その他の債権・債務の取引等に関する知識とその記帳法を理解したか。また、決算の意味や決算整理の必要性を理解し、間接法による減価償却の記帳、有価証券の評価や費用・収益の繰り延べと見越しをともなう決算の手続きを理解したか。	定期考査 単元別小テスト 提出課題
後期(後半)	第Ⅳ編　帳簿と伝票	19　帳簿 20　仕訳伝票と3伝票制 21　5伝票制		○	○ ○		b:ビジネスの諸活動について、どの伝票を用いてよいかの判断を通じて、記帳の合理化を考えることができるか。 c:伝票の起票、集計・転記が適切にできるか。	定期考査 単元別小テスト 提出課題
	第Ⅵ編　本支店の会計	25　支店の取引 26　本支店の財務諸表の合併	○		 ○	○	a:本支店間の取引、支店相互間の取引の理解に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。 c:本支店の合併貸借対照表と合併損益計算書の作成法を身に付けたか。 d:本支店間の取引, 支店相互間の取引などに関する知識を理解したか。	定期考査 単元別小テスト 提出課題

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。